



Bulletin of Information Technology Center
for Sports Sciences No.13 2025

第13号

スポーツ情報センター広報 2025

特集

スポーツ情報センターが提供する学内利用者向けサービス

<https://itec.nifs-k.ac.jp/bulletin/2025.pdf>



鹿屋体育大学スポーツ情報センター

目次

巻頭言	2
特集：スポーツ情報センターが提供する学内利用者向けサービス	
1. スポーツ情報センターサービスカタログ 2025	4
和田智仁 鹿屋体育大学 スポーツ情報センター	
2. 鹿屋体育大学事務局における Microsoft サービスの活用	12
牛込哲平 鹿屋体育大学 経営戦略課	
3. 鹿屋体育大学における情報セキュリティ対策の変遷	15
牛込哲平 鹿屋体育大学 経営戦略課	
センター利用状況	18
編集後記	21

巻頭言

鹿屋体育大学
スポーツ情報センター

和田智仁

AIが目覚ましい発展を遂げている。2022年11月末のChatGPT公開の衝撃は記憶に新しい。

ChatGPTの利用履歴を遡ってみると、私が最初にChatGPTに投げかけた言葉は「日本語での質問は可能ですか。」というものであった。今思えばこれを日本語で聞くというのもナンセンスではあるが（日本語を理解できないのであれば答えようもなからう）、これに対するChatGPTの回答はたいへんスマートで、「はい、可能です。どのような質問がありますか?」というものであった。単に「できる」と回答するだけでなく、自然に会話を促すような言葉使いとなっていて、当時の対話を見直しても新たな驚きすらある。その後日本語でいろいろと質問に答えてもらったので、私は最後に「ありがとう」と入力していた。その言葉に対するChatGPTの回答は、「どういたしまして。他に何かありましたら、お気軽にお聞きください。」であった。

私が大学生の頃、人工知能に関する授業の中で「チューリングテスト」というものを習った。これは、①人間がディスプレイとキーボードを使った間接的な方法で対話を行い、②その対話内容を踏まえて相手が人間なのかコンピューターなのかを推測し、③相手がコンピューターであったにも関わらず間違えて「人間である」と判定すれば、そのコンピューターは人間なみの知能を持っているとみなせる、というものである。自分とChatGPTの会話履歴を振り返っても、ChatGPTとの会話が人工知能相手であるとは見破るのは難しいかもしれないと感じた。私は対話の相手がAIであるとももちろん理解していたにも関わらず、「ありがとう」と入力したくなったほどChatGPTは人間らしい回答を行っていたのである。

鹿屋体育大学では、2023年から『AI入門』（1年生後期、1単位）を開講している。生成AIの一大ブームの中でのスタートではあったが、この授業が計画されたのはChatGPT登場よりは少し前である。私が担当しているこの授業の中でも例年紹介している話ではあるが、私が個人的にAIの応用に関連して最も衝撃を受けたのは2017年のOpenPoseという技術である。OpenPoseでは、ビデオに映った人物の姿勢をAIを用いて精度よくリアルタイムかつ複数人同時に推定することができる。鹿屋体育大学で行われているスポーツ科学研究では人の動きを測定して分

析することが多く、そのために研究者は様々な方法を用いている。動きの測定手法のなかでも、精度が高く最もよく使われてきたのはモーションキャプチャーシステムで、スポーツ情報センターでも2002年の初代センターシステムの一部として導入して以降、学内の研究者に多く利用されてきた。しかし、モーションキャプチャーシステムは高価であり、測定の際にマーカーを対象者に貼付する必要があるなど、手軽に使えるものではなかった。OpenPoseの研究成果を見て、ビデオ映像から人物の姿勢推定ができるようになればスポーツ科学研究の手法が大きく変わるかもしれないと感じたことを記憶している。

2023年からスポーツ情報センターでは、AIを使った姿勢推定のアプリ SPLYZA MOTION の貸し出しを始めている。また、他にもOpenCapなど簡便に利用できるAIによる骨格推定サービスも多数登場している。残念ながら現行のスポーツ情報センターシステムでは様々な理由から最新のモーションキャプチャーシステムを導入することができなかったが、AIの進展がこの状況を補ってくれることを期待している。



OpenPose での複数人姿勢推定の例。
OpenPose: Realtime Multi-Person 2D Pose Estimation using Part Affinity Fields,
<https://arxiv.org/pdf/1812.08008>

1. スポーツ情報センターサービスカタログ 2025

鹿屋体育大学 スポーツ情報センター
和田智仁

はじめに

スポーツ情報センターでは鹿屋体育大学の学生と教職員向けに様々なサービスを提供しています。これらのサービスの詳細や利用方法はセンターのWebサイトに掲載していますが、新しく追加されたサービスや終了となったサービスなどの入れ替わりもあるため、利用者がその全容を把握するのは難しいかもしれません。そこで本稿では2025年3月現在で、スポーツ情報センターが提供している様々なサービスをカタログ方式で紹介します。

○ネットワーク関連のサービス

・無線LAN

鹿屋体育大学のアカウントを有する方はどなたでも利用できます。SSIDはNIFS-WIFI2です。現在、学内の150箇所（屋内・屋外、海洋スポーツセンター含む）にWi-Fi 6（802.11ax）対応のアクセスポイントを設置しています。アクセスポイント設置場所はGoogle Mapからも確認できます（図1）。NIFS-WIFI 2への接続にはIEEE 802.1Xという方式でのユーザー認証が必要です。インクジェットプリンタなど家庭向けの機器ではこの認証方式に対応していないことが多いので教員の皆様はご注意ください。



図1 白水キャンパスのアクセスポイント設置箇所

学外からの訪問者に無線LANが必要な場合はeduroamをご利用ください。学外者自身のeduroamアカウントで学内の無線LANが利用可能です。アカウントを持たない訪問者の場合は、本学の教職員がeduroam接続用のビジター用アカウントを発行できます。詳細はスポーツ情報センターのサイトをご確認ください。

・有線 LAN

研究室などでは有線 LAN も利用できます。接続速度は 1Gbps です。接続するポートや機器は事前に登録する必要があります。プリンタやファイルサーバーなどの接続には固定 IP アドレスやホスト名の割り当ても可能です。

・ eduroam について

eduroam は大学等教育研究機関の間で無線 LAN の相互利用を実現するサービスです。鹿屋体育大学の学生・教職員は、国内や海外の eduroam 参加大学などで無線 LAN を利用できます。最近では大学だけでなく市街地で利用できる場所も増えていますので、設定を確認しておくくと便利です。

鹿屋体育大学の学生、教職員が eduroam に接続するには eduroam JP 認証連携 ID サービスを使って、eduroam 専用のアカウントを発行する必要があります。教職員が発行できるアカウントには、本人用とビジター用の 2 種類があります。学生は本人用のみを発行できます。

○ Microsoft 関連のサービス

鹿屋体育大学は Microsoft 総合契約を導入しており、構成員は Office 365 A3 Education サービスを利用できます。ユーザー認証には多要素認証を導入しています。スマートフォンに Microsoft Authenticator アプリをインストールして利用することを推奨しています。

・電子メール、予定表、オンライン予約

電子メールや予定表の機能が利用できます。これらを使う場合のお勧めは Microsoft Outlook デスクトップアプリまたはモバイルアプリです。演習室パソコンでも Outlook デスクトップアプリは利用可能です。

Microsoft 365 の Bookings という機能を使えば、自分の予定表と連動したオンライン予約機能を実現できます。例えば、学生などに自分との予約をしてもらいたい場合に、自分の空き時間や希望時間の提示ができます(図 2, 3)。利用の際は「その他のアプリを入手する」から Bookings を探して有効化してください。なお、Bookings は Web アプリとなるのでインストールなどは不要です。



図 2 Microsoft Bookings 設定画面。予約可能な曜日や時間帯などが設定可能



図 3 Bookings 予約ページ. 学外者でもゲストとしてアクセス可能です

・ Office ソフトウェア

Microsoft Word, Excel, PowerPoint などの Office ソフトウェアは、個人で Microsoft 365 からダウンロード／インストールして利用できます。インストール後は、大学のアカウントでサインインすることで利用可能になります。

ゼミ室などで使用するパソコンなども、基本的には本人のアカウントで Office をインストールして利用してください。測定機器など特別な状況で Office を使用したい場合などは個別にスポーツ情報センターまでお問い合わせ下さい。

・ オンラインストレージ, SharePoint, ビデオ共有

クラウドストレージサービス OneDrive では大容量のファイル保存が可能です。特に、学内者間でファイルを共有するのに向いています。ゼミや課外活動団体などでのファイル共有は、教員が共有フォルダを用意し、権限を管理するとよいでしょう。バージョン管理機能もあり、古い情報にさかのぼることも可能です。

Microsoft SharePoint では、ドキュメントなどの共有が可能です。特に、学内向けのサイトを作るのに向いています。古瀬先生が研究室や担当する授業の情報を集約したサイトを作って公開されていますのでぜひご覧ください (図 4)。

Microsoft Stream は、学内でビデオを共有する際に利用できます。音声の文字起こし機能もあり、利用者の制限も可能です。



図4 SharePointを使ったサイトの例：古瀬研究室
<https://nifskacjp.sharepoint.com/sites/ykose>

・ Microsoft Teams と Power Platform

Microsoft Teams はオンラインコミュニケーションツールで、チャットやビデオ会議、ファイル共有などに利用できます。チームを作成せずに利用することも可能ですが、課外活動団体や研究室などでチームを設定したい場合には、スポーツ情報センターに申請を行ってください。図5は成田先生からご提供いただいた Teams の利用例とそのコメントです。チーム名は「水泳ゼミ Team」となっており、メンバーだけがアクセスできるようになっています。



図5 水泳ゼミにおける Teams の利用例

Microsoft PowerApps や Power Automate などいわゆるローコードツールの利用も可能です。事務局では業務 DX のツールとして活用が始まっており、出退勤管理システムなどに使われています。水泳部ではトレーニングデータやレース結果のフィードバックシステムとして使われています (図 6)。



図 6 PowerApps によるアプリの例：水泳部 Feedback System

○ソフトウェア・アプリ関連

学内のユーザーが利用可能なソフトウェアやアプリ等の一覧を表 1 に示します。各自のパソコンにインストールして利用できるもの、演習室 PC で利用できるもの、パソコンとともに借りるものなどがあります。

表 1 貸出用のソフトウェア・アプリ

名称	利用方法	備考
統計解析ソフトウェア SPSS Statistics	学内の PC にインストールして利用できます。 Windows/Mac 対応	学内での Base 同時使用数は 50 台、オプションは同時 1 台となります。学外からは利用できません。
技術計算言語 MATLAB	個人の PC にインストールして利用できます。	台数制限はありません。全オプション製品を利用可。
映像分析ソフトウェア myDartfish Pro S	個人の PC にインストールして利用できます。	10 台まで貸し出し可。PC の貸し出しも可能です。
動画分析ツール Hudl Sportscode	Mac と共に貸し出しています。	2 台まで貸し出し可。
モーションキャプチャーソフトウェア Motion analysis Cortex	dongle のみまたは PC と共に貸し出しています。	カメラシステムの貸し出しも可能です。マスター dongle 1, ポストプロセス dongle 4。
筋骨格モデル動作解析ソフトウェア nMotion	dongle のみまたは PC と共に貸し出しています。	1 台のみ。
動作解析ソフトウェア Visual3D	PC と共に貸し出しています。	1 台のみ。
ビデオ動作解析システム Frame-DIAS 6	dongle のみまたは PC と共に貸し出しています。	2D, 3D 解析可能。 1 台のみ。
AI マーカーレス 3D 動作分析アプリ SPLYZA MOTION	個人の iPhone/iPad にインストールして利用できます	20 名まで利用可。
栄養計算ソフト 栄養 Plus, 食物摂取 頻度調査票 FFQ NEXT	演習室 PC にインストールされています	Ver.1

○測定機器、カメラ等

スポーツ科学研究で利用するための機器やカメラ等の貸し出しを行っています。原則として利用期間は2週間としていますが、長期利用の希望があれば個別にご相談ください。表2に貸出機器の一部をご紹介します。機器の詳細やその他の機器についてはセンターのサイトをご覧ください。

表2 貸出用の測定機器・カメラ等（抜粋）

名称	概要など
モーションキャプチャーシステム Mac3D	ケストレルカメラ 16台
AD変換システム TRIAS System	32ch変換ユニット, ワイヤレスLED型シンクロナイザ2ch型, TRIAS IIデータ取り込みプログラム
眼球運動計測システム アイマークレコーダー EMR9	オーバーグラスタイプ, グラスタイプ, キャップタイプ
フルHD遅延再生フィードバックシステム	スポーツセンシング社製
高速度カメラ（業務用）	Photron FASTCAM Mini AX50, CX-100
	Nac MEMRECAM HX-1
高速度カメラ（民生用）	CASIO EX-100PRO 8台
	Panasonic LUMIX DC-BS1H 8台
	スポーツコーチングカム GC-LJ20B 4台 など
ビデオカメラ（民生用）	デジタル4Kビデオカメラ Sony FDR-AX45 など
3Dスキャナ	CREALITY CR-ScanLizard
3Dプリンタ	CREALITY K1 FDM
ポータブル電源	Jackery JE-1000B など

○その他のサービス

インターネットを通じて利用できる各種のサービスも提供しています。それぞれの利用方法についてはスポーツ情報センターのサイトをご確認ください。

・WebClass

鹿屋体育大学で利用されているLMS(Learning Management System)で、スポーツ情報センターで管理しています（授業評価アンケートなどの一部機能を除く）。ゼミや課外活動団体などでの利用も可能ですので、お問い合わせ下さい。

・ファイル共有サービス Proself

このシステムでは、自分のファイルを共有したり、特定の人からファイルを回収したりすることができます。これによって従来はメールでやりとりできなかった大きなファイルを他人に渡したり、他人から受け取ったりすることが可能です。使用可能容量は50GB、ファイルの保存期間は60日です。無料サービスのような広告などの表示がなく、大学ドメイン (share.nifs-k.ac.jp) のサーバーですので安心して利用できます。登録などは不要です。大学アカウントで利用できます。

・ビデオ会議サービス Cisco Webex

学生、教職員とも Cisco Webex を利用してビデオ会議を主催できます。ID は大学のメールアドレスとなっています。パスワードは Webex 用のものになります。わからなくなった場合は、Webex サイトから「パスワードを忘れた場合」とたどってリセットすることができます。

・ONE TAP SPORTS

ONE TAP SPORTS は、スポーツ選手のコンディショニングやトレーニングに必要な情報を一括して記録・管理できるデータプラットフォームシステムです（図7）。鹿屋体育大学では全ての学生と教員がこのシステムを利用できる契約を行っています。課外活動団体ごとに準備します。顧問教員を通じて利用申請してください。

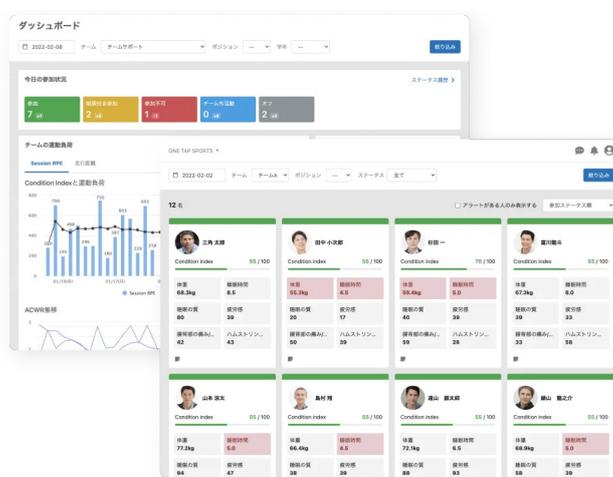


図7 ONE TAP SPORTS 画面例 (https://one-tap.jp/ より)

・体組成データ管理サービス TANITA FIT

屋内トレーニング室、屋外トレーニング場、保健管理センター、SPORTEC スポーツパフォーマンス研究センターでは TANITA の体組成計を利用できます。TANITA FIT に利用者登録しておくと、測定結果の履歴管理やグラフ表示が可能となります（図8）。



図8 TANITA FIT のデータ閲覧画面の例

・ 教育用クラウド型映像分析ソフトウェア Vosaic

Vosaic はクラウド型の映像分析・共有ソフトウェアで、授業分析などに利用できます。現在は、保健体育科教育法Ⅳにおいて行われている模擬授業の共有と、授業分析に利用されています(図9)。その他、研究用途などでの利用希望があればスポーツ情報センターまでご相談ください。

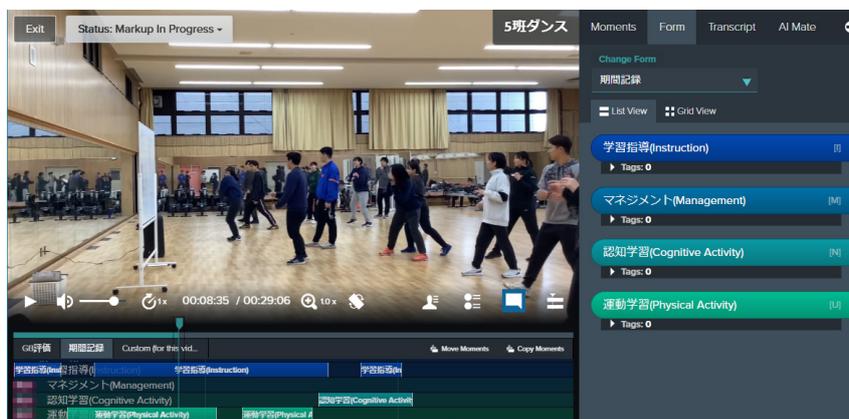


図9 Vosaicでの模擬授業分析例

おわりに

スポーツ情報センターのサービスは多岐にわたり、他の大学にも引けを取らないくらい充実していると自負しております。ぜひご活用ください。利用の際にお困りごとがあればセンタースタッフまでお問い合わせ下さい。

また、導入を希望するサービスなどがあれば、スポーツ情報センターまでお知らせください。物価上昇や予算縮小の中ではありますが、何かの機会に導入できることがある、かもしれません。ご協力よろしく申し上げます。

2. 鹿屋体育大学事務局における Microsoft サービスの活用

鹿屋体育大学 経営戦略課
牛込哲平

1. はじめに

鹿屋体育大学では、Microsoft のサービス利用に際し、2017年10月から大学に所属する人数に応じた総合契約である OVS-ES を利用してきた [1]。2023年10月からは通常1,000ライセンスからしか契約できない総合契約である EES が AXEIS（一般社団法人大学 ICT 推進協議会）の会員特典として最小250ライセンスから利用できることから、EES に切り替えた。しかしながら、当該会員特典が終了し、2024年10月からは再び OVS-ES の契約となった。利用できるライセンスは、Microsoft365 Education A3 から Office365 Education A3 及び Enterprise Mobility + SecurityA3 に変更となった。本稿では、事務における Microsoft 各サービスの活用について報告する。

2. 事務用 PC 管理での活用

2024年に更新した事務用 PC はノート型を採用し、その管理に Microsoft Intune を利用している（図1）。Microsoft Intune を利用すると、クラウドからポリシー適用（図2）やデータ消去ができ、端末の暗号化に利用する BitLocker 回復キーの管理なども可能である。



図1 Microsoft Intune での管理



図2 ポリシー適用

また、事務用 PC 更新に関する情報を発信するため SharePoint を利用した（図3）。サイトでは、入れ替えにあたっての注意点や便利な周辺機器等の案内を行った。事務用 PC の交換時には、Active Directory での設定変更と旧 PC の受取、新 PC の配布に時間がかかるため、その作業時間の予約に Microsoft Bookings を利用した（図4）。



図3 SharePoint を利用した案内



図4 Microsoft Bookings での予約

3. 事務 DX 推進での活用

2023年7月に事務部門のDXの取り組みとして、事務DX相談窓口が情報システム係に設置され、事務局内有志によるDX人材育成Team及び法人文書デジタル化Teamの2つのプロジェクトチームが設置された。事務DX相談窓口は情報システム係が業務のデジタル化を支援するもので、SharePoint を利用した学内サイトの作成(図5)やPowerAutomate を利用した感染症報告の自動化(図6)を行った。



図5 学内サイト



図6 感染症報告の自動化

DX人材育成Teamでは、事務DXアイデアソンやDX勉強会等を実施した。事務DXアイデアソンでは、参加者が持ち寄った業務課題に対し、Microsoft 365等のツールを利用した解決策について検討した(図7)。DX勉強会では、他大学から講師を迎え、DX推進とMicrosoft 365の活用について事例発表やパネルディスカッションを行った(図8)。



図7 事務DXアイデアソン



図8 DX勉強会

4. おわりに

鹿屋体育大学では、Microsoft サービス利用時には多要素認証が必須となっているので、情報セキュリティの確保という面においても優れている。また、今まで使い慣れてきた Microsoft Word や Microsoft Excel と Microsoft Power Platform 等を組み合わせることで、様々な場面での業務改善が見込まれる。今後も有効活用していきたい。

参考文献

[1] 和田智仁, 第 4 期センターシステムおよび関連サービスについて, スポーツ情報センター広報, No.8, pp.4-8, <https://itec.nifs-k.ac.jp/bulletin/2019.pdf> (2024 年 11 月 8 日 参照)

3. 鹿屋体育大学における情報セキュリティ対策の変遷

鹿屋体育大学 経営戦略課
牛込哲平

1. はじめに

2019年7月に鹿屋体育大学学術図書情報課情報システム係に配置されてからの5年間、筆者は事務局ネットワーク、事務システム及び事務用PCの管理・運用に加え、情報セキュリティ対策等の業務に携わってきた。本稿では、鹿屋体育大学の情報セキュリティ対策が5年間にどのような変遷を遂げたかについて報告する。

2. 情報セキュリティ対策の変遷

2.1. 多要素認証の導入

情報システム係に配属後最初の仕事となったのが、文部科学省への多要素認証導入完了報告であった。配属前の2019年3月に学生1名のMicrosoftアカウントが乗っ取られ、不正に利用された事案の再発防止のため、本学では2019年6月に全構成員に対し多要素認証を必須とした。必須化にあたっては、危機管理委員会にて承認を得て、詳細なマニュアルを作成し、混乱が起きないように所属等で適用時期をずらして実施された(図1)。

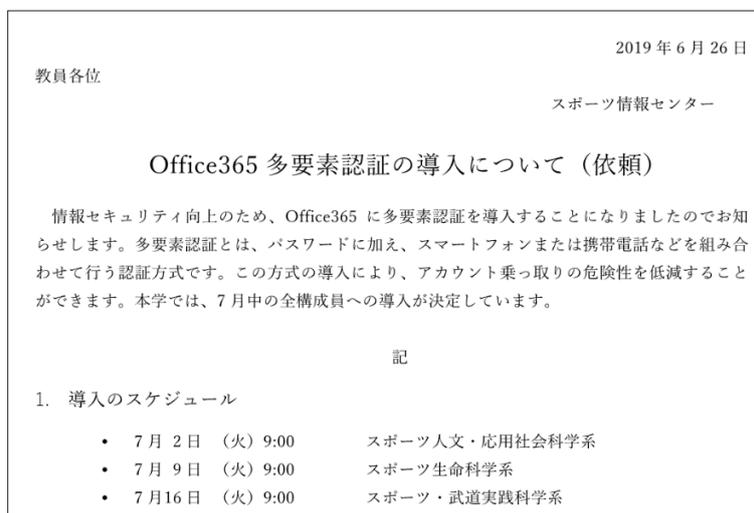


図1 Microsoft Intune での管理

2.2. 情報セキュリティ基本計画

2019年5月に文部科学省から「大学等におけるサイバーセキュリティ対策等の強化について（通知）」（令和元年5月24日付元文科高59号）が届いていたことから、次の業務としてこれの対応を行った。鹿屋体育大学では、既に中期的な情報セキュリティ推進計画として2016年に「鹿屋体育大学情報セキュリティ対策推進計画」を策定していたので、これを改訂し2019年9月に「鹿屋体育大学サイバーセキュリティ対策等基本計画」とした。さらに、2022年度には「大学等におけるサイバーセキュリティ対策等の継続的な取り組みについて（通知）」（令和4年6月22日付4文科高367号）の通知があり、令和4年度から令和6年度の計画として「鹿屋体育大学情報セキュリティ対策等基本計画」を2022年9月に策定した（図2）。

鹿屋体育大学情報セキュリティ対策等基本計画

令和4年9月15日
最高情報セキュリティ責任者

1. 概要

 本学の情報セキュリティポリシーに基づき、情報セキュリティ対策を総合的に推進するため、以下の事項について計画を策定する。

- Ⅰ 情報セキュリティに関する教育
- Ⅱ 情報セキュリティ対策の自己点検
- Ⅲ 情報セキュリティ監査
- Ⅳ 情報セキュリティインシデントへの対処訓練
- Ⅴ 情報システムに関する技術的な対策を推進するための取組
- Ⅵ その他情報セキュリティ対策に関する重要な取組

図2 鹿屋体育大学情報セキュリティ対策等基本計画

2.3. 情報セキュリティポリシーの改訂

鹿屋体育大学の情報セキュリティポリシーは、2004年の制定以降大きく変更されることなく運用されていた。そこで、昨今のDX推進や新たな脅威へ対応できるよう「高等教育機関の情報セキュリティ対策のためのサンプル規程集」に沿って情報セキュリティポリシーの全面改訂を行った。この経緯等については、第26回学術情報処理研究集会にて発表した（図3）[1]。

現行の鹿屋体育大学情報セキュリティポリシーの課題

→ 2004年に制定以降、大きく改正はされていなかった。

- ・ **情報セキュリティポリシー基本方針**
 - 情報セキュリティに対する基本的な考え方や方針を示す
- ・ **情報セキュリティポリシー対策基準**
 - 基本方針に基づき、遵守事項など情報セキュリティ対策に関する全学的な基準を示す
- ・ **情報セキュリティポリシー実施手順書（事務局システム用）**
 - 情報セキュリティ対策を実施していくための具体的な手順を示す

【課題】

- ・ 教員の実施手順書がない
- ・ クラウドサービスに関する記載がない
- ・ 外部監査から全面的な見直しを推奨された

情報の重要性分類	レベル	内容
情報を4つのレベルに分け、移動、開示、更新・破棄について規定	レベル1	特に機密度の高い情報(入試, 人事情報等)
	レベル2	機密度の高い情報(重要な研究情報や個人情報など)
	レベル3	業務で取り扱う情報(各種資料, 一般的な研究情報等)
	レベル4	一般情報(公開可能な情報等)

図3 第26回学術情報処理研究集会での発表スライド

2.4. 様々な情報セキュリティ対策

配属中に実施した鹿屋体育大学情報セキュリティ対策等基本計画を含む様々な情報セキュリティについては、スポーツ情報センター広報第12号に寄稿した [2].

3. おわりに

情報システム系の業務は日々新しい課題が生まれ、ついていくことが精一杯であったが、関係者の皆様のおかげで何とか業務をこなすことができた。特に同じ係の大石さんには、配属されたばかりで右も左も分からなかった筆者に丁寧に教えていただきありがたかった。また、和田先生にはいつも適切に指導いただき、いろいろな場面で成長させていただいた。もし縁があり再び情報システム係に配置されることがあった場合に少しでも役に立てるよう、今後も学びを続けていきたいと思う。

参考文献

- [1] 牛込哲平, 鹿屋体育大学における情報セキュリティポリシーの改訂と課題, 第26回学術情報処理研究集会, 2022.
- [2] 牛込哲平, 鹿屋体育大学に置ける情報セキュリティ対策の取り組み, スポーツ情報センター広報第12号, pp. 16-19, <https://itec.nifs-k.ac.jp/bulletin/2024.pdf> (2024年6月18日参照)

教育用 PC 利用状況

2022年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
演習室I	ログイン数	50	51	1	78	199	380	466	122	0	589	644	480	3060
	利用アカウント数	45	43	1	25	155	207	234	47	0	180	192	181	
演習室II	ログイン数	85	46	19	59	54	83	194	57	-	-	-	-	597
	利用アカウント数	60	33	14	44	33	62	97	43	-	-	-	-	
図書館	ログイン数	181	139	69	235	267	208	253	103	76	350	475	363	2719
	利用アカウント数	122	94	42	132	120	119	170	69	41	159	181	148	
キャリア支援室	ログイン数	7	11	8	28	17	31	70	33	19	49	40	47	360
	利用アカウント数	6	8	4	14	8	15	27	13	7	21	14	20	
計	ログイン数	323	247	97	400	537	702	983	315	95	988	1159	890	6736
	利用アカウント数	181	151	78	174	276	315	380	146	46	283	286	276	

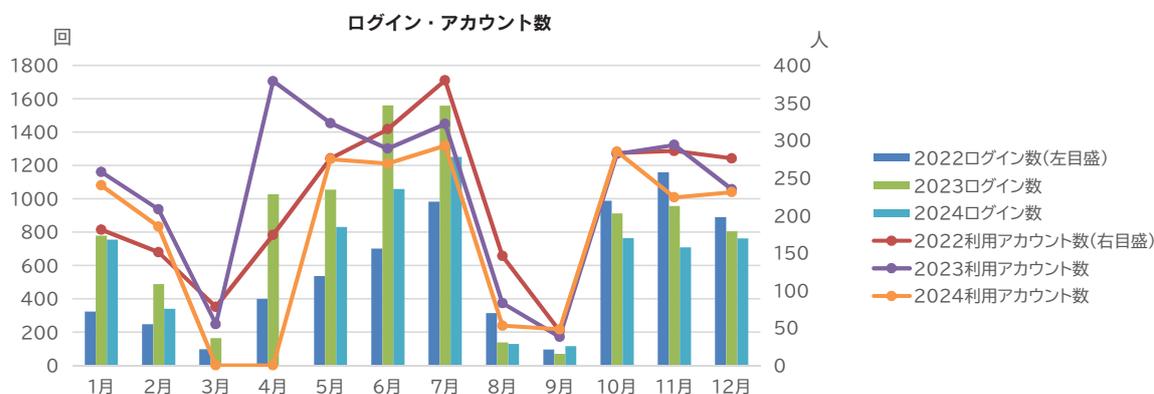
2023年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
演習室	ログイン数	435	179	96	864	849	1247	1140	76	15	529	554	403	6387
	利用アカウント数	165	113	19	318	254	247	268	45	12	199	218	167	
図書館	ログイン数	324	273	57	152	206	315	419	62	54	384	403	403	3052
	利用アカウント数	158	133	37	87	111	112	167	48	33	135	154	137	
キャリア支援室	ログイン数	20	37	11	12	-	-	-	-	-	-	-	-	80
	利用アカウント数	12	15	7	11	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	ログイン数	779	489	164	1028	1055	1562	1559	138	69	913	957	806	9519
	利用アカウント数	258	208	55	379	323	289	322	83	38	282	294	235	

2024年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
演習室	ログイン数	503	175	-	-	706	897	944	97	35	488	445	390	4680
	利用アカウント数	184	133	-	-	229	229	233	32	16	224	162	147	
図書館	ログイン数	253	165	-	-	125	162	307	33	81	276	264	373	2039
	利用アカウント数	119	86	-	-	68	69	124	23	23	100	102	132	
計	ログイン数	756	340	-	-	831	1059	1251	130	116	764	709	763	6719
	利用アカウント数	240	185	-	-	275	269	293	53	48	285	224	231	

※2024年3-4月はデータ取得に失敗したためデータが欠損しています
 ※2022-2023年の利用アカウント数(計)は集計ミスを修正しました



プリンタ・複合機利用状況

2022年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
演習室II プリンタ	プリント	白 黒	1018	820	440	552	511	731	1609	349	47	914	591	1293	8875
		フルカラー	112	58	77	95	84	91	127	30	64	366	228	115	1447
		計	1130	878	517	647	595	822	1736	379	111	1280	819	1408	10322
	コピー	白 黒	81	120	46	298	332	104	46	118	26	188	224	115	1698
		フルカラー	10	3	1	17	0	7	378	3	1	2	4	0	426
		計	91	123	47	315	332	111	424	121	27	190	228	115	2124
	スキャン	白 黒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		フルカラー	2	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	32
		計	2	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	32
図書館 プリンタ	白 黒	1625	1860	525	1762	1828	2928	4224	197	587	2244	2143	4698	22507	
	フルカラー	73	307	119	149	172	141	151	100	67	183	268	185	1698	
	計	1698	2167	644	1911	2000	3069	4375	297	654	2427	2411	4883	24205	

2023年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
演習室II プリンタ	プリント	白 黒	934	665	272	453	824	374	1561	589	184	853	662	781	8152
		フルカラー	66	58	31	35	346	221	602	405	12	126	179	66	2147
		計	1000	723	303	488	1170	595	2163	994	196	979	841	847	10299
	コピー	白 黒	54	49	0	212	0	172	103	40	33	584	267	87	1601
		フルカラー	0	9	1	0	5	36	20	0	0	2	22	2	97
		計	54	58	1	212	5	208	123	40	33	586	289	89	1698
	スキャン	白 黒	0	0	0	24	2	24	0	0	0	0	0	0	50
		フルカラー	4	44	4	26	4	86	0	0	0	0	0	0	168
		計	4	44	4	50	6	110	0	0	0	0	0	0	218
図書館 プリンタ	白 黒	1975	4335	680	1474	2999	2407	4251	1322	983	3324	3891	2214	29855	
	フルカラー	298	260	67	104	71	88	192	79	54	235	236	169	1853	
	計	2273	4595	747	1578	3070	2495	4443	1401	1037	3559	4127	2383	31708	

2024年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
演習室 プリンタ	プリント	白 黒	1736	2535	299	677	898	735	2163	206	195	794	863	826	11927
		フルカラー	52	56	14	105	87	32	68	13	163	85	139	56	870
		計	1788	2591	313	782	985	767	2231	219	358	879	1002	882	12797
	コピー	白 黒	98	136	3	168	219	1148	1196	0	9	149	99	124	3349
		フルカラー	2	0	0	25	2	0	0	0	0	7	0	0	36
		計	100	136	3	193	221	1148	1196	0	9	156	99	124	3385
	スキャン	白 黒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	6	18
		フルカラー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	6	18
図書館 プリンタ	白 黒	4136	778	709	1764	2814	2432	9882	753	982	3881	4820	3129	36080	
	フルカラー	189	42	138	136	135	102	269	606	91	236	0	118	2062	
	計	4325	820	847	1900	2949	2534	10151	1359	1073	4117	4820	3247	38142	

機器貸出状況

機器名称		貸出総日数(件数)		
		2022	2023	2024
モーションキャプチャシステム	MotionAnalysis MAC 3D	109(6)	92 (9)	78(6)
視線計測システム	Nac EMR-9	118 (6)	0	16
デジタルカメラ	CASIO EX-100PRO	48(8)	75 (15)	373 (10)
デジタルカメラ	GC-PX1	0	0	46(3)
スポーツコーチングカム	SportsSensing GC-LJ20B	186(11)	47 (3)	46 (3)
デジタルビデオカメラ	-	512(34)	289 (22)	486(17)
MAC3D	MotionAnalysis CORTEX	421(19)	183 (13)	78(6)
映像分析システム	DARTFISH Software	948(9)	1127 (10)	723 (10)
ビデオ分析システム	Hudl SportsCode	946(31)	874 (12)	938 (7)
ビデオ動作解析システム	Frame-DIAS	-	-	520 (2)
筋骨格モデル動作解析ソフト	nMotion	0	0	150 (1)

ソフトウェア利用申請状況

機器名称	貸出総日数(件数)		
	2022	2023	2024
ウイルス対策ソフトウェア	42	36	14
統計用ソフトウェア	30	26	22
数値解析ソフトウェア	7	1	-
Office ソフトウェア	34	10	6

編集後記

2024年度も終わってみればあっという間に過ぎ去ってしまいました。歳を取るほど時間が過ぎるのが早いとはよく聞かれますが、ここまで早くなるのは驚きです。来年の今頃も同じことを考えているのでしょうか。4月からセンターに新戦力が加わる予定なので、2025年はもう少し落ち着いて仕事できていることを期待しています。

編集人

鹿屋体育大学 スポーツ情報センター

内倉由夏 高橋仁大 與谷謙吾 和田智仁

スポーツ情報センター広報 第13号 2025

発行日：2025年3月31日

発行所：鹿屋体育大学スポーツ情報センター
〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

印刷所：株式会社オンデマンドスクエア



鹿屋体育大学スポーツ情報センター

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町 1 番地
TEL. 0994-46-5162 Mail. itec@nifs-k.ac.jp
<https://itec.nifs-k.ac.jp/>